

2013 年度 修 士 論 文

住宅における古さの表現に関する研究
Study on expressions about the oldness of house

飯島 康太郎
Iijima, Kotaro

東京大学大学院新領域創成科学研究科
社会文化環境学専攻

目次

1.序章.....	2
1-1.背景	2
1-2.目的	3
1-3.手法	3
1-4.既往研究の中の位置づけ	3
2.研究の流れ.....	5
3.研究対象.....	6
3-1.研究対象の選択	6
3-2.語句の抽出	8
4.分析と考察.....	9
4-1.全体の概要	9
4-2.<物の印象>を表すのに用いられた語句	11
4-2-1.<物の印象>を表すカテゴリ	12
4-2-2.記述頻度の高い<物の印象>	23
4-3.「古さ」が評価されたもの	25
4-3-1.「古さ」の種類.....	25
4-3-2.「古さ」が評価された既存部分.....	28
4-3-3.「古さ」が評価された改修部分.....	29
4-4.「古さ」に対する評価	31
4-4-1.既存部分／改修部分による「古さ」の印象の違い.....	31
4-4-2.古さの種類による「古さ」の印象の違い	31
4-5.「古さ」に対する評価の位置づけ	33
5.結論.....	35
<参考文献>	37
謝辞	38
資料	39

1.序章

1-1.背景

現在日本では、既存のストックを活用していくことが求められている。その理由は、空き家の増加や建設業界における二酸化炭素排出量削減の要請など様々である。その中で、購入する住宅は依然として新築が好まれる傾向にある。図1は2008年に発表された住宅総研による「既存住宅流通活性化プロジェクト報告書」の中に掲載されている、新築住宅・中古住宅ともに検討した上で新築住宅を購入した人が新築住宅を選んだ理由について聞いたアンケートの結果である。それによると、新築住宅を選んだ理由で最も多かったものは「せっかくのマイホームは新築の方が気持ちよいから」というものであった。また、星印で示されるように、キッチンやバスルーム、トイレといった設備や見た目全般の古さ・汚さ、外観やインテリアの古臭さなど、見た目の古さや汚れも理由として複数挙っている。その背景には、一般的に住宅において「古さ」がマイナスイメージを持つということが考えられる。

■中古住宅を検討したにもかかわらず買わなかった理由(新築物件を購入者&中古住宅検討者ノ複数回答)

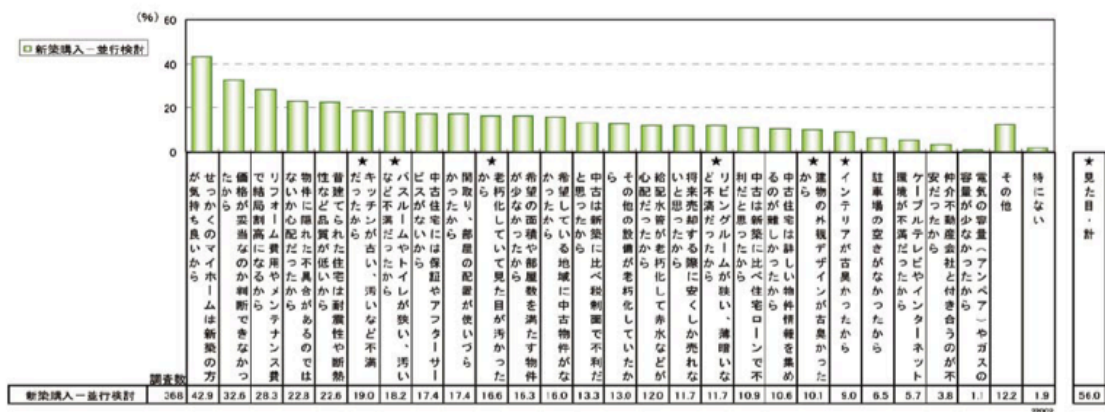


図 1 中古住宅を検討した上で新築を選んだ理由

『既存住宅流通活性化プロジェクト報告書』リクルート住宅総研
<http://www.jresearch.net/house/jresearch/kizon/> 2013.2.17)

それに対し、建物のもつ「古さ」自体にも価値があると考ええる。

伝統的な建物のもつ古さに関しては、その価値は広く認められるところだろう。しかし、それ以外の普通の建物も、歴史や街並、人々の生活を形づくってきたものとして価値がある。建物のもつ歴史、「古さ」を受け入れ使っていくことで、スクラップアンドビルドでは得ることのできない、豊かな生活空間をつくることができるだろう。

1-2. 目的

生活空間を豊かにするためには、建物のもつ「古さ」が人々に受け入れられることが望ましい。しかし、建物の「古さ」と言ってもその価値観や捉え方は漠然としている。

そこで、建物の「古さ」の問題が最も顕在化すると考えられる、住宅のリノベーション事例に着目する。住宅のリノベーションにおいて古さがどのように扱われているかを分析することで、住宅における「古さ」の価値観の一端を明らかにすることが本研究の目的である。

1-3. 手法

本研究では、建築専門誌ではなく、消費者に近い住宅メディアである住宅雑誌の解説記事を取り上げることで、世の人々が住宅をつくる上で「古さ」をどのように捉えているかを考察する。解説記事は文章と写真で構成されているが、文章による表現は古さに対する価値観をより明確に表すと考え、文章表現に着目する。

それらは雑誌記者の目や考えを通して書かれたものではあるが、住宅をつくるには一部専門的な知識も必要であり、住宅雑誌のようなメディアがそれを手助けする。それらは人々の住宅観の形成を担っていると考えられるため、住宅雑誌の分析から人々の古さに対する価値観を考察することにする。

1-4. 既往研究の中の位置づけ

雑誌などのメディアを対象にした研究には、その空間構成に着目したもの⁷⁹⁾、共有空間・公室空間の位置づけや、その時代的変遷⁶⁸⁾、建築写真によるイメージ形成に関するもの¹⁰⁾

があるが、意匠的側面をテキストから研究したものは見当たらない。また、テキスト資料から分析を行っているものは、建築家の言説を対象に、建築作品がもつ概念を明らかにしたもの¹¹⁾¹²⁾¹³⁾¹⁴⁾¹⁵⁾が中心であり、一般的な住宅に関して述べられたものは見当たらない。一般消費者に近いメディアである住宅雑誌を対象とすることで、大衆にとっての住宅観がどのようなものであるか、そこに「古さ」がどのように関わっているかに迫るという点で、本研究の独自性があると考えられる。

2.研究の流れ

以下に研究の流れを段階的に示す。

- (1) 過去1年間に発行された住宅雑誌『LIVES』（第一プロGRESS）に掲載された住宅の中で、リノベーションによってつくられたものの解説記事を研究対象とする。
- (2) 研究対象において、建物や空間に関して述べられた部分に着目する。ここで着目する内容は、各事例において対象となっている住宅に留まらず、施主が理想とする空間像について述べた部分なども含め、魅力的な空間として描かれているものを幅広く集める。
- (3) それぞれにおいて、空間を表現している言葉やフレーズを抽出し、似た意味のものをまとめてカテゴリ化を行う。それぞれのカテゴリの使用頻度を比較することによって、どのような価値観が重視されているかを考察する。

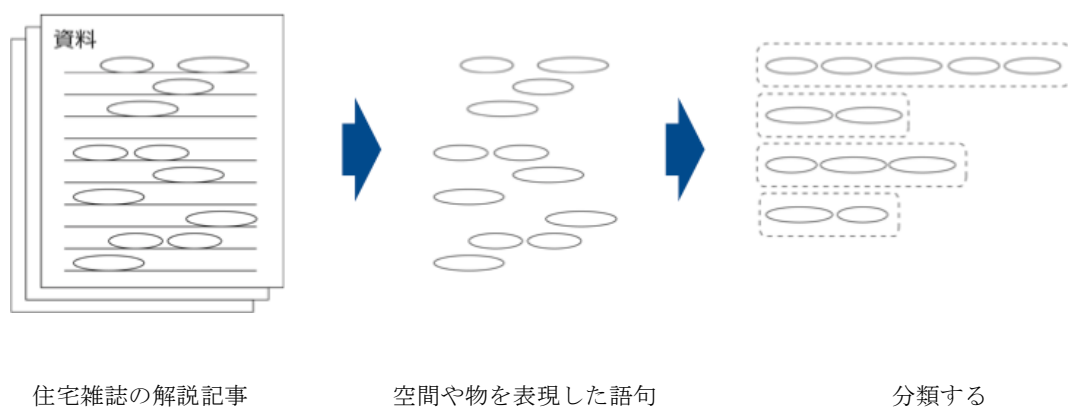


図 2 分析の概要

3.研究対象

3-1.研究対象の選択

本研究では、住宅雑誌『LiVES』（株式会社第一プロGRESS）の住宅解説記事を資料とする。同誌はリノベーション住宅の掲載数が多く、またリノベーション住宅と同等に新築の注文住宅も多く扱っているため幅広い読者層が想定され、中古住宅購入層だけでなく新築住宅の購入層に対しても影響を及ぼしていると考えられることから選んだ。

研究対象とするのは、過去 1 年間に発行された第 67 号から第 72 号に掲載されたリノベーション住宅の解説記事である。賃貸住宅の空き物件情報やシェアハウスの事例については、個人住宅と性格が異なるため除外し、計 37 事例を研究対象とする。

『LiVES』（株式会社第一プロGRESS）

デザイン住宅、デザイナーズマンション、リフォーム&リノベーション、建築家など、スタイルのある住宅を手に入れるための住宅&インテリアマガジン。

創刊：2001年6月15日

発行形態：隔月

発行部数：70,000部

(LiVES ホームページ 媒体概要 <http://livesjapan.com> 2013.1.24)



図 3 『LiVES』（出典 <http://livesjapan.com>）

表 1 対象事例の概要

物件名	設計者	住戸形式	構造種別	階数(集合住宅の 該当階数)	既存竣工年	改修年	巻号	掲載 ページ
武蔵小杉E邸	オープンフィールド	戸建	S造	3F	1994	2013	72	24
覚王山の住宅	ワーク・キューブ	集合	SRC造	7F(7F)	1970	2012	72	36
F邸	宮田一彦アトリエ	団地	RC造	5F(5F)	1970	2012	72	44
古材と折り合いをつける長屋	ワタナベケイタ	長屋	木造	1F	推定1911	2011	72	48
宵の実	(セルフリノベーション)	戸建	木造	1F	1958	2010	72	78
Hara Residence	HIGH-LIGHT + Normal	集合	RC造	3F(2F)	1970	2011	72	82
鈴木邸	ナインマンズ一級建築士事務所	集合	RC造	3F(1F)	1982	2011	72	86
Y邸	フィールドガレージ	集合	RC造	12F(11F)	1980	2013	71	24
シキリの形 鶴川のリノベーション	青木律典建築設計スタジオ	集合	RC造	3F(2F)	1978	2013	71	28
U邸	アートアンドクラフト	戸建	木造	3F	1984	2012	71	32
目黒の家	田中裕之建築設計事務所	集合	RC造	7F(5F)	1963	2012	71	48
京田辺のリノベーション	濱田設計測量事務所	戸建	木造	1F	1962	2012	71	52
HouseK	酒井康介建築設計事務所	戸建	木造	2F	1983	2012	71	94
プロカントハウス	こごこち一級建築士事務所	戸建	木造	1F	1991	2011	70	78
巽邸	リノベル	集合	RC造	11F(7F)	1980	2012	69	74
半蔵門のリノベーション	岡田公彦建築士事務所	戸建	木造	1F	1991	2011	69	78
K邸	空間社	集合	RC造	6F(5F)	1984	2012	69	83
小金井の家	パンフィックファニチャーサービス	戸建	木造	2F	1991	2011	68	22
A邸	フィールドガレージ	戸建	S造	3F	1996	2011	68	26
新浦安の家	石井秀樹建築設計事務所	戸建	木造	2F	2011	2012	68	30
中野の住宅	ランドスケーププロダクツ	戸建	S造	3F	1997	2012	68	34
精華町の古民家	多田正志アトリエ+ENDO SHOJIRO DESIGN	戸建	木造	1F	推定1912	2012	68	38
富士見台の家	小阿瀬直建築設計事務所[SNARK]	団地	RC造	5F(1F)	1965	2012	68	42
代官山のアパートメント	K2YT	集合	RC造	5F(1F)	1977	2012	68	46
hous M/A	RYO ASO DESIGN OFFICE	集合	SRC造	11F(6F)	1970	2011	68	50
OKB邸	Found	集合	RC造	6F(3F)	1967	2010	68	54
T邸リノベーション588	コードスタイル	集合	RC造	4F(1F)	1982	2012	68	60
+1+1	EcoDeco/TANK	集合	RC造	7F(5F)	1966	2011	68	82
M邸	エイトデザイン	集合	RC造	14F(1F)	1980	2012	68	90
S邸	スマサガ不動産/吉田裕一建築設計事務所	集合	RC造	7F(5F)	1969	2012	67	26
松村邸	アートアンドクラフト	集合	SRC造	14F(12F)	1974	2011	67	30
村田邸	みのり制作室	集合	SRC造	12F(4F)	1986	2011	67	42
藤原邸	(DIY)	集合	RC造	4F(2F)	1973	2012	67	46
DM	ブルースタジオ	集合	SRC造	14F(7F)	1973	2010	67	70
清水邸	アートアンドクラフト	集合	SRC造	8F(6F)	1977	2012	67	74
Circle	空間社	集合	SRC造	11F(6F)	1975	2012	67	78

3-2. 語句の抽出

対象となる事例の解説記事の、建物・建築空間に関する記述に着目する。ここで着目するのは、各事例において対象となっている住宅について解説した部分、施主が理想とする空間像について述べた部分などで、読者に対してどのような空間が魅力的なものとして記述されているかが読みとれるものを幅広く集める。

次に、それぞれの記述において、どこがどのような空間なのか、どのような印象の空間か、が読みとれる語句を抽出する。頻繁に用いられる表現は重視されている事柄を表すという考えのもと、これらを全事例について見たときに、どのような表現がどれだけ使われたかを比較することで、住空間において重要とされる価値観をあぶり出す。

実際に用いられる表現は多岐に渡るので、似た意味を表す言葉はまとめてカテゴリにし、それぞれのカテゴリの使用頻度を比較する。

【L72-24】 明るく広い家に住みたいと思っていたので、鉄骨造の構造を露出させて、天井が高くオープンな空間にしてほしいとお願いしました。 (LiVES 72 pp. 25-26)	対象 : <その他空間>	空間
	<建物全体>	家
	性質 : <建物の性質>	鉄骨造
	状態 : <空間の状態>	明るく／広い
	<素材・仕上げ>	／天井が高く／オープンな構造を露出させ

図 4 分析例

4.分析と考察

4-1.全体の概要

抽出の結果、1,867の語句を得ることができた。それらを整理すると、〈空間〉〈物〉〈評価〉に分かれる（表2）。

表 2 抽出された語句の概要

カテゴリ		例	頻度	合計	
空間	空間一般	空間／部屋	70	444	
	機能を示す空間	リビング／寝室	316		
	その他空間	土間／ロフト	31		
	空間構成	間取り／プラン	27		
物	住宅全体	住まい／家	70	446	
	内装・外装	インテリア／佇まい	33		
	建物の構成要素	柱／天井	220		
	家具・設備・小物	テーブル／冷蔵庫	116		
	外部の要素	木々／緑	5		
	リノベーション	リノベーション	2		
評価	建物の評価		鉄骨造／3階建て	119	119
	空間の評価	空間の性質	自由に仕切れる	4	249
		空間の状態	ワンルームの／回遊性のある	228	
		空間の印象	開放的／籠り感	17	
	物の評価	物の性質	外装材の／可動式の	60	609
		物の状態	白い／タイル張りの	327	
		物の印象	武骨な／すっきりとした	222	
合計				1867	

〈空間〉は、各居室や間取りなどの空間構成といった、空間的な説明をする際の対象となるようなもの、〈物〉は壁や床など空間を構成する部位や家具、外観など、物の説明をする際の対象となるものである。

〈評価〉は、〈空間〉や〈物〉がどのようなものかを説明する語句であり、建物の評価、空間の評価、物の評価がある。建物に対する評価は、鉄骨造の、3階建てのといった、構造や規模、築年数など情報的なものである。空間の評価、物の評価は〈性質〉〈状態〉〈

印象>に分かれる。

<性質>は、<空間><物>がどのような特徴を持ったものであるかを示す項目で、不変的な性格をもつものである。外装材の、可動式の、といった情報や機能などを示すものが含まれる。<状態>は<空間><物>が実際にどのようなものであるかを示す項目で、物の形や仕上げの種類、空間の広さに対する表現などである。

<印象>は、開放的な、すっきりした、武骨な、居心地の良いといった、<空間><物>や、その<性質><状態>に対してどのように感じるかという心理的な影響を示すものである。

「古さ」の評価は物の評価に含まれる。本研究では、「古さ」がどのように捉えられているかを考察するため、<物の印象>の評価に用いられた語句に着目する。

4-2.<物の印象>を表すのに用いられた語句

<物の印象>を表す語句は以下の12のカテゴリで捉えることが出来た(表3)。

<物の印象>には大きく、心理的なもの、描写的なもの、良いという評価をしているものがあつた。

心理的なものは、《楽しさ》とその逆の印象である《落ち着き》である。

描写的なものにはまず、対象の状態に着目した《整然・簡素》とその逆の印象である《粗野》、それらのどちらでもない雰囲気を表す《重厚さ》がある。さらに、時間軸に着目した《現代的》《懐古的》、他のものが評価に関係する《差異性》《物との関係》《多様性》が見られた。

良いという評価をしているものは《個人的な評価》と《漠然とした評価》である。

以下に、それぞれのカテゴリについて説明する。

表3 <物の印象>を表す語句

カテゴリ	頻度	含まれる言葉
楽しさ	14	楽しい／面白い／賑やか／遊び心／興味深い
落ち着き	32	心地よい／居心地／和める／快適な／ゆとりある ／ゆったりと／穏やかな／安らぎ／ゆとり／ストレスにならない／優しい ／気取りが無い／落ち着いた／あたたかみ／優美／おおらか
整然・簡素	28	美しい／すっきり／シンプル／ライン／潔い／無駄の無い ／ベーシックな／プレーン
粗野	33	ヴィンテージ／ラフ／ざっくりとした／ハードな／武骨／骨太な ／屋外の雰囲気を感じさせる／インダストリアルな ／倉庫のような／ビルのような／素材感／素地／廃材風
重厚さ	21	深みのある／立派な／頑丈そうな／堂々とした／味わい／風情 ／趣／古びた／年代風の／古い質感／古さ／重厚感を増している ／力強く／木造住宅の歴史を物語る／本物っぽく見える
現代的	8	モダン／瀟洒／ホテルライク
懐古的	12	レトロな／アンティーク調／和風／日本の伝統的な／数寄屋造りの
差異性	28	ユニーク／個性的／ひと味違う／意外性のある／独特な ／ここにしかない／他には無い／クリエイティブな ／デザイン性の高い／大胆な／思い切ったデザインの／アクセント ／存在感／全体のイメージを引き締めるような
物との関係	10	生きる／相応しい／新たな息吹をもたらす／同居する ／合わせている／馴染む／調和する／しっくり来る／関係性
多様性	3	多様な／多彩な／ミックステイスト
漠然とした評価	12	雰囲気が良く／印象的／豊か／ちょうどいい
個人的な評価	31	理想の／理想的な／好みの／好きな／希望通り／気に入った ／お気に入りの／こだわった／自分らしい ／自分自身が表れている／住む人の想いが具現化したような ／今住みたい／住み慣れた

4-2-1. <物の印象>を表すカテゴリ

《楽しさ》

付加的な要素を加えたり、意匠を工夫したりすることで、明るい感情を沸き起こさせるような印象を表す。

>頻度：14

>含まれる語句（記述頻度）

楽しさ（4）／楽しい／面白い／賑やか（2）／遊び心（4）／遊びの要素／
興味深い

>事例1：半蔵門のリノベーション（岡田公彦建築設計事務所）

昔から絵画を飾るのが好きだから、その感覚で直接壁に描いてもらったら面白いのではと考えました。（LiVES 69号 p.79）



図5 「絵の具、クレヨン、マジック、鉛筆など、多彩な画材で描いた」と記された、「直接壁に描いた」絵（LiVES 69号 p.79）

>事例2：Hara Residence（HIGH-LIGHT + Normal）



図6 「無骨だけど大人の遊び心が潜んでいる空間」の説明に登場する、「H鋼と滑車を組み合わせた特注の吊り戸」と、その奥の「リカーラック」（LiVES 72号 p.82,84）

H 鋼と貨車を組み合わせた特注の/吊り戸を開けると、リカーラックが現れる。原さんは、「アメリカで禁酒法が発令された1920年代に数多く生まれた隠れ酒場のイメージ。無骨だけど大人の遊び心が潜んでいる空間です。(LiVES 72号 p.84)

《落ち着き》

《楽しさ》とは逆に、穏やかさを感じさせるような心理的な印象を表す。

>頻度：32

>含まれる語句（記述頻度）

居心地のいい（9）／心地よい（4）／優しい（3）／おおらか（3）／
ゆったりと（2）／ゆとり（2）／温か（2）／穏やかな／安らぎ／落ち着いた
どこか和める／快適な／ストレスにならない／気取りが無い

>事例1：プロカントハウス（こちこち一級建築士事務所）

素足に心地よい杉板の床や古い無垢材の小屋梁、画鋸の跡が気にならない杉板の壁と無骨なガス管の手すりなど、仕上げも空間同様におおらかで気取りが無い。(LiVES 70号 P.80)



図 7 左は「無骨なガス管」のカーテンレール (LiVES 70号 P.81) 右は「素足に心地よい杉板の床や古い無垢材の小屋梁、画鋸の跡が気にならない杉板の壁」の LDK (同 P.79)

>事例2：目黒の家（田中裕之建築設計事務所）

一続きに広がる間取の効果により、木、コンクリート、植物が自然光でつながれ、空間全体が優しい印象にまとまっている。(LiVES 71号 p.48)



図 8 「木、コンクリート、植物が自然光でつながれ」た空間 (LiVES 71号 p.48)

《整然・簡素》

装飾や凹凸の少ない様を良しとするような評価。モダニズムの影響があると考えられる。

> 頻度：28

> 含まれる語句 (記述頻度)

シンプル (11) / すっきり (7) / 美しい (3) / ライン (3) / ベーシックな / プレーンに / 無駄の無い / 潔い

> 事例 1：富士見台の家 (小阿瀬直建築設計事務所[SNARK])

壁は長押や廻り縁などの痕跡を残しながら、塗装してすっきりとした印象にまとめた。

(LiVES 68号 p.45)



図 9 「塗装してすっきりとした印象」のリビング (LiVES 68号 p.45)

> 事例 2：新浦安の家 (石井秀樹建築設計事務所)

部分的なりノベで、上下階が連続し、シームレスにラインが揃う美しい空間に。(LiVES 68号 p.30)



図 10 「シームレスにラインが揃う」空間 (LiVES 68号 p. 30)

《粗野》

凹凸のある様や、整然としていない様、工業的なものなど、力強さを感じさせるような印象に対する評価。

> 頻度：32

> 含まれる語句（記述頻度）

武骨（3）／ラフな（2）／骨太な／ざっくりとした／ハードな／ヴィンテージ（5）
 ／ヴィンテージ感／ヴィンテージライク／インダストリアル（3）／倉庫のような（2）
 ／職人仕事／素材感（3）／素地の表情（2）／質感／廃材風／廃材柄の／廃材模様
 の／屋外の雰囲気を感じさせる／ビルのような

> 事例1：武蔵小杉E邸（オープンフィールド）



図 11 「ペンキやサビ跡の残る」と記された「ハードな雰囲気の足場板」 (LiVES 72号 p. 25)

2階の床にはハードな雰囲気の足場板を使いました。(LiVES 72号 p.24)

>事例2：武蔵小杉E邸（オープンフィールド）

天井まで壁をつくらず、構造壁を少し見せて鉄骨造の武骨さを活かすなど、細かいところにもこだわって作り込みました (LiVES 72号 p.24)



図 12 「鉄骨造の武骨さを活か」した空間
(LiVES 72号 p.27)

《重厚さ》

対象が醸し出す、雰囲気に対する印象を表す。

>頻度：13

>含まれる語句（記述頻度）

風情（2）／味わい／味わい深い／深みのある／立派な／頑丈そうな／趣／重厚感／
堂々とした風格／力強く／木造住宅の歴史を物語る／本物っぽく見える

>事例1：T邸リノベーション588（コードスタイル）



図 13 「自然の塗りムラ」の壁 (LiVES
68号 p.61)

リビングとダイニングを仕切る構造壁は、モルタル左官でモダンに仕上げた。自然な塗りムラが味わい深い表情をつくり出している。(LiVES 68号 p.61)

>事例2：精華町の古民家（多田正治アトリエ+ENDO SHOJIEO DESIGN）

力強く優美な柱と梁が建物を支え、土間やかまども当時のまま残されていた。(LiVES 72号 p.39)



図 14 「力強く優美な柱と梁」(LiVES 72号 p.39)

《現代的》

現代的な、新しさを感じさせるような印象に対する評価。

>頻度：8

>含まれる語句（記述頻度）

モダン（2）／瀟洒な／ホテルライクな／憧れの／ポップな（3）

>事例1：U邸（アートアンドクラフト）

リビングと廊下の壁にはムラ感のある塗装を取り入れ、キッチンの壁には、墨を混ぜたモルタルを塗り、モダンで落ち着いたニュアンスを加えている。(LiVES 71号 p.32)



図 15 「墨を混ぜたモルタルを塗」ったキッチンの壁 (LiVES 71号 p.32)

>事例2：DM（ブルースタジオ）

小上がりからは、IKEA のユニット収納家具に整然とワードローブが収まるクローゼット、ホテルライクな水まわりへと続き、キッチンへと回遊出来る。(LiVES 67号 p.70)



図 16 「タイル壁の奥に浴槽が収まる浴室」と記された、「ホテルライクな水まわり」(LiVES 67号 p.73)

《懐古的》

古い感じのする、現代ではないある時代を思わせるような印象に対する評価。

>頻度：14

>含まれる語句（記述頻度）

レトロ（3）／アンティーク調（2）／アンティークタイル調／和風（2）／

日本の伝統的な／昔ながらの／古びた／年代風の／古い質感／古さ

>事例1：目黒の家（田中裕之建築設計事務所）

築50年という物件のレトロなスチールサッシが気に入り、リノベーションをすることにしたという。(LiVES 71号 p.48)



図 17 「レトロな」スチールサッシ
(LIVES 71号 p.48)

>事例2：精華町の古民家（多田正治アトリエ+ENDO SHOJIEO DESIGN）

新旧の素材と技術を融合し、昔ながらの日本家屋を再生（LIVES 68号 p.38）



図 18 「山里に建つ築100年以上の日本家屋」と記された、「昔ながらの日本家屋」（LIVES 68号 p.38）

《差異性》

一般的なデザインと比べて特徴的であるものや、周囲に対して異なるデザインを施すことによる、特徴的な印象に対する評価。

>頻度：28

>含まれる語句（記述頻度）

ユニーク（2）／個性的（2）／オリジナルな／オリジナリティが発揮された／
普通とはひと味違う／独特な／意外性のある／ここにしかない／他には無い／
クリエイティブな／デザイン性の高い／大胆な／思い切ったデザインの／存在感／
アクセント（8）／メリハリ／アイストップ／全体のイメージを引き締めるような／

>事例1：半蔵門のリノベーション（岡田公彦建築設計事務所）

個室を仕切る壁や腰壁には、北村さんの絵との相性から、ヴィンテージの型押しタイルがプリントされた「merci」の壁紙をセレクト。腰壁が遺跡のような趣となり、空間にユニークなリズムをつくっている。（LiVES 69号 p.78）



図 17 「ヴィンテージの型押しタイルがプリントされた」壁紙を張った壁（LiVES 69号 p.79）

>事例2：富士見台の家（小阿瀬直建築設計事務所[SNARK]）

レールやドアノブなどのパーツには真鍮を使い、意匠的なアクセントに。（LiVES 68号 p.42）

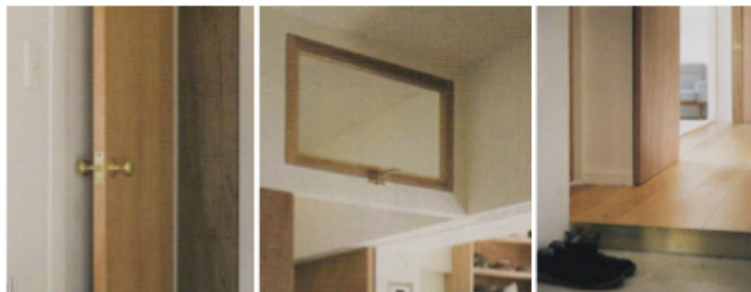


図 18 「意匠的なアクセント」と記された真鍮のパーツ（LiVES 68号 p.42,45）

《物との関係》

対象そのものを評価するのではなく、空間や物が内部に置く家具や雑貨、コレクションなどと釣り合っていると言うことで評価している。対象より、内部に置かれる物の方に重点が置かれていると考えられる。

>頻度：10

>含まれる語句（記述頻度）

生きる（2）／相応しい／心地よく同居する／雰囲気に合わせて／関係性／

違和感無く馴染む／自然に調和する／しっくりくる

>事例1：Hara Residence (HIGH-LIGHT + Normal)

「クロージングルーム」はモルタルコテ仕上げとし、原さんが求めた倉庫のようなラフな表情に。アンティークのラックを配して、ヴィンテージのデニムや革の「寂のある質感」が生きる内装を施した。(LiVES 72号 p.82)



図 19 ヴィンテージのデニムや革の「寂のある質感」が生きる内装 (LiVES 72号 p.84)

>事例2：鈴木邸（ナインマンズ一級建築士事務所）



図 20 「手持ちのヴィンテージ家具」と「エイジングして」「ヴィンテージ家具の雰囲気に合わせ」た建具 (LiVES 72号 p.86)

建具類は新品の既製品をエイジングして、手持ちのヴィンテージ家具の雰囲気に合わせている。(LiVES 72号 p.86)

《多様性》

ひとつの種類の印象ではなく、様々な印象が存在しているという評価。

>頻度：3

>含まれる語句（記述頻度）

多様な／多彩な／ミックステイスト

>事例1：A邸（フィールドガレッジ）

ワンルームの2階 LDK は、多様な表情が心地よく共存するミックステイストにまとまっている。(LiVES 68号 p.29)



図 21 「ミックステイスト」な LDK (LiVES 68号 p.28)

個性的な水まわりや多彩な仕上げが見られる一方で、寝室の個室化という一般的な間取も採用し、使いやすさにも配慮した。(LiVES 71号 p.24)

《漠然とした評価》

どのような点で良いのかは示されていないが、対象が肯定的に評価されていることを読みとることが出来る。

>頻度：13

>含まれる語句（記述頻度）

印象的（3）／印象（5）／雰囲気が良く／豊か／見た目／ちょうどいい／
築33年の団地の一室とは思えない

《個人的な評価》

空間が個人の好みに合う、意図した空間が出来上がったというような印象、住み手自身のもつ何か空間に反映されているという印象を表す。対象が個人の価値観に合致しているということを意味するもので、対象が肯定的に評価されているということを読みとることが出来る。

>頻度：31

>含まれる語句（記述頻度）

理想の（3）／理想／理想的な／理想通り／
好みの（4）／好み（2）／自分好み／好きな（2）／好き／好きが詰まった／
好きなものだけに囲まれた／希望通り／気に入った／お気に入りの／こだわり／
こだわりの（2）／こだわった／こだわり抜いた／今住みたい／住み慣れた／
自分らしく／今の自分自身が表れている／住む人の思いが具現化したような

4-2-2.記述頻度の高い<物の印象>

上記の12の<物の印象>のうち、記述頻度が高かったのは、《落ち着き》、《整然・簡素》、《粗野》、《差異性》、《個人的な評価》だった。《個人的な評価》は、「良いものである」ということを「住み手の価値観と合致している」という言い方で表現したものだと言える。住宅雑誌の性格上、「良いもの」が記事に書かれることはある程度自明であり、また対象の様子を表していない点で他の評価とは性格の異なるものである。《落ち着き》、《整然・簡素》、《粗野》、《差異性》はいずれも対象の様子を表した評価であり、住空間において重要な意匠的価値観だと考えられる。

《落ち着き》と《楽しさ》は対をなすような価値観だが、《落ち着き》の方が評価されている。住宅には楽しさや面白さよりも、安らぎやくつろげることの方が求められているため、このような結果になったのではないか。

また、《現代的》《懐古的》といった時間の概念を含んだ印象よりも、物の状態を表すような印象が多く記述されている。これは、現代的か古い感じかという価値観よりも、物としてどのような感じがするか、という価値観の方が重視されていることによるのではないだろうか。

4-3. 「古さ」が評価されたもの

ここでは、どのようなものがその「古さ」を評価されているかを分析する。

「古さ」が評価された対象として、ただ古いものを再利用するだけでなく、積極的に「古さ」に価値を見出して使っている例を抽出するため、何らかの印象評価をともなって表現されているものを、「古さ」が評価された対象として扱う。

まず、〈物の印象〉を表す評価に着目し、その評価に影響を与えている対象を読みとる。次に、それらの対象の中で何らかの古さが評価に影響しているものを抽出した（表4, 巻末資料：「古さ」に対する評価のデータシート）。

〈物の印象〉の評価は、対象単体ではなく空間全体の中においてなされるという側面があるため、直接には評価の対象になっていなくても、〈物の印象〉の評価に影響を与えているものは「古さ」が評価された対象に含めることにする。

>例

開放的な空間を求めるUさんご夫妻に応じて、LDKの化粧天井ボードを撤去。思
いがけず現れた立派な柱が、空間に堂々とした風格を与えている。

(LIVES 71号 p.32)

この例では、「堂々とした風格」は「空間」に対しての評価だが、「思いがけず現れた立派な柱」がその印象に影響を与えていると考え、「柱」を「古さ」が評価された対象とする。

4-3-1. 「古さ」の種類

対象の「古さ」はその種類によって《時を経た古さ》、《使い込まれた古さ》、《デザインの古さ》の3つに分けることが出来た。

《時を経た古さ》

時間の経過によって色が変わったり、サビや艶が出たりといった、物質的な変化から感じる古さ。

>頻度：19

>例

頑丈そうな梁や柱は、かつての囲炉裏の煙で燻され、重厚感を増している。(LiVES 72号 p.48)



図 22 「囲炉裏の煙で燻され」た柱梁 (LiVES 72号 p.51)

《使い込まれた古さ》

傷跡や汚れなど、人が使ったような痕跡や劣化に対して感じる古さ。

>頻度：8

>例

カラフルな部屋に負けじと存在感を放つキッチン本体は、壁紙専門店「WALPA」で購入したピート・ヘイン・イークがデザインした廃材模様の壁紙を張ったもの。(LiVES 67号 p.46)



図 23 「廃材模様」の壁紙 (LiVES 72号 p.48)

《デザインの古さ》

現代風ではないデザインから感じる古さ。

> 頻度：4 1

> 例

数寄屋造りの味わいを残しながら、機能的かつ個性的にリノベーション (LIVES 71 号 p. 32)



図 24 「数寄屋造りの味わいを残し」た空間 (LIVES 71 号 p. 34)

これらの分類を用いて、「古さ」が評価されたものについて分析を進める。

4-3-2. 「古さ」が評価された既存部分

表 4 カテゴリー別「古さ」が評価された既存部分

カテゴリ	対象	頻度
構成要素	柱(5)／梁(4)／小屋梁／小屋組み／アール形状の壁の出隅／ALCパネル／躯体の壁／むくり屋根	15
建具／細部	木枠や格子に、型板ガラス、すりガラスなどがはめられた古い建具／スチールサッシ	2
家具・小物		0
内観	中(既存の数寄屋造りの住宅)	1
外観	外観(既存の数寄屋造りの住宅)／建物(団地)	2
建物	数寄屋造り(3)／日本家屋／時を経た建物	6
その他	古いもの	1

表 5 古さの種類別「古さ」が評価された対象

カテゴリ	対象	頻度
時を経た古さ	柱(3)／梁(3)／小屋梁／小屋組み／躯体の壁／ALCパネル／数寄屋造り／外観(既存の数寄屋造りの住宅)／中(既存の数寄屋造りの住宅)／時を経た建物／古いもの	14
使い込まれた古さ		0
デザインの古さ	数寄屋造り(3)／柱(3)／梁(2)／小屋組み／むくり屋根／アール形状の壁の出隅／建具／スチールサッシ／日本家屋／建物(団地の外観)	15

表 5、表 6 は既存部分について「古さ」が評価されたものを、対象のカテゴリと古さの種類別に整理したものである。

まず、カテゴリをみると構成要素の占める割合が多いことが分かる。

また、既存部分において使い込まれた古さは評価されていない。

《時を経た古さ》は、大部分が木の部材に対して評価したものであるが、一部 ALC パネルやコンクリートの躯体の壁など、工業部材もその経年変化が魅力として評価されている。

また、伝統的な古いデザインはその価値が広く認められているが、《デザインの古さ》の項目を見ると、小屋組み、むくり屋根、数寄屋造りといった伝統的なもの以外にも、アール形状の壁の出隅・スチールサッシ・団地の外観のような、近代的な要素も、古いデザインを魅力として評価されていることが分かる。さらに、それぞれについて建物の竣工年を見ると、アール形状の壁の出隅：1970 年(LiVES 72 号 p. 85)、スチールサッシ：1963 年(LiVES 71 号 p. 50)、団地の外観：1965 年(LiVES 68 号 p. 44)であった(表 1)。

伝統的な古いデザインというものは、むくり屋根や数寄屋造りのように、デザインが形式

化している。一方で、スチールサッシのデザインや団地の外観なども、ある時代に多くつくられた固有のものであるという点では同じだと言える。これらは、つくられてからの年月の長さが異なるだけである。分析の結果は、伝統的なものの古さも近代的なものの古さも、同列に評価され得ることを示している。

一言に「古い」と言われる建物のディテールや建物形式にも、このような時代に固有な要素がある。しかし、伝統的なデザインが様式などを持つのに対し、それらは体系化されていないため、見えにくくなっている。そのような、これまで見過ごされてきた古いデザインも、体系化し、ある時代に固有なものだと“発見”することで《デザインの古さ》として評価されるようになるのではないか。アール形状の壁の出隅・スチールサッシ・団地の外観への評価からは、そのような可能性を見ることが出来る。

また、一般的に、少し古いだけのものは時代遅れ・古臭いといった印象を生みやすいのに対し、非常に古ければそれが良さとして捉えられるという傾向が存在することは、ある程度納得のいくことだと感じる。もしそうであれば、現在は1970年代頃を境に、それより古いものは良さとして捉えられ得ると考えられるが、このことを明らかにするには更なる事例調査、文化的側面からの調査が必要である。

4-3-3. 「古さ」が評価された改修部分

一方の改修部分についても、「古さ」が評価されている。

カテゴリ別に見ると、家具や小物に対する評価が多いことが分かる（表7）。建築空間を構成するものの古さよりも、家具や小物など、アイテム的なものの古さの方が受け入れられる傾向があると考えられる。

また、古さの種類では《デザインの古さ》が多くを占めている（表8）。《デザインの古さ》は、アンティーク調のものや伝統的なデザインなど、「古さ」の価値が比較的一般化しており、受け入れられやすいと考えられる。

表 7 カテゴリー別「古さ」が評価された改修部分

カテゴリ	対象	頻度
構成要素	壁紙(5)／レンガタイル／土間／フローリング／足場板(床)	8
建具・細部	階段の手すり／ドアノブ／建具／パーツ／障子／窓／モールドイング／足場板(DJブース)	8
家具・小物	テーブルの脚／家具(5)／雑貨(3)／照明／コレクション／古道具／インダストリアル／キッチンカウンター／ソファ／H鋼／滑車／吊り戸／リカーラック／洗面鏡	20
内観		0
外観		0
建物		0

表 8 古さの種類別「古さ」が評価された改修部分

カテゴリ	対象	頻度
時を経た古さ	家具／壁紙／階段の手すり／ドアノブ／テーブルの脚	5
使い込まれた古さ	壁紙(3)／足場板(床)／フローリング／窓／洗面鏡／足場板(DJブース)	8
デザインの古さ	家具(4)／雑貨(3)／照明／コレクション／古道具／インダストリアル／キッチンカウンター／ソファ／吊り戸／リカーラック／H鋼／滑車／建具／パーツ／レンガタイル／壁紙／土間／障子／モールドイング	24

その中で、「時を経た古さ」「使い込まれた古さ」に対する評価も見られる。特に「使い込まれた古さ」は既存部分には見られなかった評価である。

このことから、既存建物の「使われた感じ」がするものは「古い良さ」としては受け取られず、自由なデザインのために新たに取入れるものとして、「使い込まれた古さ」が受け入れられているのではないかと考えられる。そうであれば、既存建物の「使い込まれた古さ」も、デザインにうまく取り込むことで魅力だと評価されるのではないだろうか。そのようなデザインの例が多く示されることによって、既存建物の「使い込まれた古さ」を魅力と捉える感性が養われるだろう。

4-4. 「古さ」に対する評価

前節では「古さ」が評価された対象について見たが、ここではそれら対象がどのような物の印象>を与えているのか、すなわち「古さ」が住空間に与える印象について分析する。<物の印象>を表す12のカテゴリのうち、《個人的な評価》《漠然とした評価》は、肯定的な評価ではあるが、具体的にどのような印象なのかを示したものではない。また、《物との関係》は空間そのものの印象として述べられたものではない。《多様性》は<物の印象>を与える対象が複数あるため、何がどのような印象を与えるかということを見るには適さない。

以上をふまえ、具体的な印象を示す《楽しさ》《落ち着き》《整然・簡素》《粗野》《現代的》《懐古的》《差異性》《重厚さ》の8つのカテゴリについて、「古さ」が評価された対象との関係を分析する。

4-4-1. 既存部分／改修部分による「古さ」の印象の違い

表 9 既存部分／改修部分の別と<物の印象>の関係

	楽しさ	落ち着き	整然・簡素	粗野	重厚さ	現代的	懐古的	差異性
既存部分	0	7	0	1	11	0	8	2
改修部分	2	3	0	15	1	0	6	12
合計	2	10	0	16	12	0	14	14

表9は既存部分／改修部分による<物の印象>の違いを表している。

それぞれの<物の印象>の記述頻度を見ると、既存部分では《重厚さ》、改修部分では《粗野》《差異性》が多くなっている。ここから、既存部分の古さは《重厚さ》のある部分が評価され、また、新たに古いものを取り入れることで《粗野》な印象や《差異性》を演出する傾向があることが読みとれる。

4-4-2. 古さの種類による「古さ」の印象の違い

次に、古さの種類がどのような<物の印象>の違いとなって表れているかを見る(表10)。

表 10 古さの種類と〈物の印象〉の関係

	楽しさ	落ち着き	整然・簡素	粗野	重厚さ	現代的	懐古的	差異性
時を経た古さ	0	7	0	2	6	0	4	5
使い込まれた古さ	0	0	0	6	0	0	0	4
デザインの古さ	2	4	0	8	10	0	11	6

《時を経た古さ》は《落ち着き》《差異性》《重厚さ》と、幅広く表現されている。また、《落ち着き》に最も関わりが大きいのが《時を経た古さ》であり、経年による物質的な変化が《落ち着き》の印象を生み出していると考えられる。さらに、《重厚さ》の評価についても3分の1以上を占め、影響を与えていると言える。

《使い込まれた古さ》の影響は多くはないが、《粗野》《差異性》に関わっている。特に、《粗野》の印象には《デザインの古さ》とともに大きく関わり、使われた感じが《粗野》の印象を形成していると言える。

《デザインの古さ》は《懐古的》な評価に最も関わるが、《粗野》《重厚さ》にも関わり、幅広い捉えられ方をしている。

また、《差異性》にはどの種類の古さも関わっており、どのような種類の古さも《差異性》として評価される可能性があると言える。これは、新しい部材や現代的なデザインをすることが普通で、どのような種類でもとにかく「古い」ものを用いることが特殊であるという認識の表れでは無いだろうか。

リノベーションを行うにあたり、「古さ」に対する評価が一般化していない現段階においては、「古さ」を用いて《差異性》をうまく演出することで、意匠的な評価の高い設計につながられると考えられる。

4-5. 「古さ」に対する評価の位置づけ

表 11 <物の印象>全体と「古さ」に対する評価の比較

	楽しさ	落ち着き	整然・簡素	粗野	重厚さ	現代的	懐古的	差異性	合計
「古さ」の評価のみ	2	10	0	16	12	0	14	14	68
<物の印象>全体	14	32	28	33	13	8	14	28	170

表 11 は、「古さ」が評価された対象が与える<物の印象>の記述頻度と、抽出した<物の印象>を表す語句全体の記述頻度を比較したものである。

<物の印象>全体において評価の高かった《落ち着き》《整然・簡素》《粗野》《差異性》の項目を見ると、《粗野》《差異性》において、「古さ」に対する評価が半数を占めている。このことから、住空間の意匠的評価において、「古さ」が《粗野》《差異性》に大きく影響していると考えられる。

表 9 によると、これらはほとんどが改修部分による評価である。では、既存部分ではどのようなになっているのか。既存部分で《粗野》や《差異性》が評価されているものは以下である。

- 数寄屋造りの味わいを残しながら、機能的かつ個性的にリノベーション (LiVES 71号 p.32)
- 壁・天井は真っ白の塗装を基本とし、一面だけ無塗装のまま残し、アクセントとしている。(LiVES 69号 p.74)
- 壁の一部は古びた ALC パネルの現しでざっくりとした表情に。(LiVES 68号 p.26)

《差異性》の印象を与えるものとして「数寄屋造り」が、《粗野》な印象を与えるものとして「無塗装」の壁や「古びた ALC パネル」が挙げられている。

《差異性》は相対的な評価であり、古いものがその《差異性》を評価されるのは、古いものを新たにつくる住宅に取入れるということが特殊であるという状況で成り立つという側面もある。しかし、この例で示される数寄屋造りの建物は希少性が高く、新たにつくることが出来ないという価値を持ち、それは時が経っても変わらないものである。

また、古いコンクリート壁や ALC パネルといった工業部材は《粗野》な印象を与えるのに有効だと考えられる。これらの要素を活かせることは、経年した近代以降の建築の強みだ

と言えるのではないだろうか。

希少性のあるデザインを活かした特徴的な空間や、経年した工業部材を取入れた粗野な印象を持つデザインすることで、意匠的な評価の高い設計につなげることが出来ると考えられる。

また、《懐古的》《重厚さ》の記述は、〈物の印象〉全体の中で占める割合こそ多くはないものの、ほとんどが「古さ」に対する評価によるものである。これらはリノベーション住空において「古さ」ならでの価値観を形成していると言えるだろう。

5. 結論

本論では、住宅雑誌のリノベーション事例の解説に表れる表現を通して、古さがどのように捉えられているのかを考察した。

その結果として、住空間には大きく8つの意匠的価値観が存在し、「古さ」が住宅の《粗野》《差異性》の形成に影響を与えていることが分かった。それらは「古い」ものを新たに取り入れることで演出される傾向にある。また、《懐古的》《重厚さ》という「古さ」ならではの価値観が存在することが分かった。

また、「古さ」はその性質から《時を経た古さ》《使い込まれた古さ》《デザインの古さ》に分けることができ、《使い込まれた古さ》は、自由なデザインのために新たに取り入れるものとして受け入れられている。

さらに、ALCパネルやコンクリートの躯体の壁などの工業部材の経年変化や、アール形状の壁の出隅・スチールサッシ・団地の外観のような近代的なデザイン要素も、「古さ」が魅力として評価されていることが分かった。このような魅力を発見していくことで、古い住宅の評価につながるだろう。

本研究では、特定の雑誌が対象になっていること、最新の1年分のみの分析となっていることから、語句の記述頻度や内容に偏りがあると考えられる。複数の種類の住宅雑誌を参照すること、より事例の数を増やすことで分析の精度を上げることが出来るだろう。

一方で、これまで部分的なリフォームの事例が住宅雑誌に敬されることはあったが、住宅の設計手法としてリノベーションが注目され始めたのはごく最近である。そのため、世の中における最も新しいリノベーションのあり方を見ることが出来たという意義はあるように思う。

また、今回はリノベーションの事例のみを扱ったが、新築住宅の解説記事との比較や、改修事例の解説記事を通時的に分析することによって、より詳細に古さの価値観をあぶり出すことが出来るだろう。

また、消費者にとっての住宅における「古さ」の価値観を見るために、消費者の住宅観を形成すると考えられるメディアとして住宅雑誌を資料としたが、雑誌での評価が消費者の住宅観と実際にどれだけ相関があるかは明らかではない。どれだけの人々が住宅を建てる上で雑誌を参考にしているかなど、メディアが与える人々の価値観への影響の度合いを検証することで、より消費者の住宅観の実態に迫ることが出来るだろう。

現在、既存のストックを活用していく建築手法として、リノベーションが注目されはじめている。リノベーションのメリットとして挙げられるのは、コストを抑えられること、コストを抑えることでエリア選択や住空間の設計の幅が広がること、エリアの選択肢が広い、などであり、建物の「古さ」に魅力を感じたことを動機としてリノベーションが行われることは稀であると言える。

しかし、本研究の示すように「古さ」は評価され得るものである。これは、「古さ」の魅力が中古住宅を活用する動機とはなるには至っていないものの、古い建物がリノベーションによって活用されることで、古いことにも魅力が見出されてきた結果だと言えるのではないか。

もちろん、様々なメリットを生かして古くなった建物が活用されるのは素晴らしいことである。しかし、「古さ」の価値を発見していくことで住空間はさらに豊かなものになるだろう。

<参考文献>

- 1) LiVES, 67号-72号, 2013, 株式会社第一プロGRESS
- 2) 佐藤郁哉：質的データ分析法-原理・方法・実践, 2008, 新曜社
- 3) 西條 剛央：ライブ講義 質的研究とは何か SCQRM ベーシック編, 2007, 新曜社
- 4) 松村秀一：建築-新しい仕事のかたち 箱の産業から場の産業へ, 2013, 彰国社
- 5) リクルート：既存住宅流通活性化プロジェクト報告書, 2008
(<http://www.jresearch.net/house/jresearch/kizon/> 2013.2.17)
- 6) 城谷豊, 井康宏, 堀井敏幸：大衆向け住宅雑誌に見る公室空間の変遷, 日本建築学会北陸支部研究報告集 (32), pp253-256, 1989-06-17
- 7) 城谷豊, 桜井康宏, 堀井敏幸, 武沢敏樹：住宅雑誌にみる住空間構成の類型化に関する一試論, 日本建築学会北陸支部研究報告集 (33), pp265-268, 1990-07-21
- 8) 山内要, 植田宏：建築雑誌に見られる住宅の共有空間に関する研究, 日本建築学会研究報告. 九州支部. 3, 計画系 (46), pp73-76, 2007-03-01
- 9) 土屋洋亮, 篠野志郎, 藤田康仁, 守田正志, 山田卓矢：雑誌『モダンリビング』にみる戦後日本における住宅の空間像に関する研究, 日本建築学会関東支部研究報告集 82(II), pp565-568, 2012
- 10) 奥山信一, 桜井春美, 塩崎太伸：建築写真に表現された室内構成, 学術講演梗概集. F-2, 建築歴史・意匠 2003, pp281-282, 2003-07-30
- 11) 塩崎太伸, 山本洋一郎, 奥山信一：現代日本の建築家の設計論にみられるスケール言語, 日本建築学会計画系論文集 75(651), pp1087-1095, 2010-05
- 12) 塩崎太伸, 奥山信一：現代日本の建築家の設計論にみられる空間をもちいた創作言語, 日本建築学会計画系論文集 73(633), pp2333-2340, 2008-11-30
- 13) 北川啓介, 米澤隆, 大井亮：建築物の言語描写における透明性の多義性, 日本建築学会計画系論文集 78(686), pp791-799, 2013-04
- 14) 北川啓介, 米澤隆, 加藤聖仁, 山梨岳美：建築物の言語描写における<間>の多義性, 日本建築学会計画系論文集 78(692), pp2119-2126, 2013-10
- 15) 池田朋子, 大貝彰：言説を分析対象とした空間イメージ研究の手法に関する考察, 日本建築学会計画系論文集 (492), pp149-156, 1997-02-28

謝辞

本論文を執筆するにあたり、多くの方に助けをいただきました。夏からテーマが定まらない私を最後まで指導していただいた大野先生、行き詰まったときに相談に乗りはげましていただいた山崎さん、大島さん、松宮さん、研究室の皆様、親身に話を聞き、アドバイスを戴いた神本さん、渡辺さん、田中さん、清家先生、リノベーション物件を見学させていただき相談にも乗っていただいた宮部さん、細かな手伝いを引き受けてくれた東野、そしていつも全力で支えてくれた河邊有紗、これらの方々無くしては、ここまでたどり着くことすら出来なかったでしょう。この場を借りて、深く感謝の意を示したいと思います。心よりありがとうございました。

資料

- 抽出された語句のデータシート
- 「古さ」に対する評価のデータシート

抽出された語句のデータシート

凡例

- 括弧内は記述頻度を表す
- 網かけ部分はカテゴリの名称を表す

空間	空間一般	空間(59)			
		部屋(5)	部屋(4) 一室をまるごと		
		余白(2)			
		箱(2)			
		プライベートゾーン			
		居場所			
		機能を示す空間(316)	LDK関連(131)	キッチン(40)	キッチン(38) オープンキッチン(2)
	リビング(36)			リビング(34) 広間(2)	
	ダイニング(25)				
	LDK(23)				
	リビングダイニング(5)				
	ダイニングキッチン(2)				
	個室(70)			寝室(40)	寝室(38) ベッドルーム ベッドスペース
			書斎(14)	ワークスペース(7) 書斎(4) デスクコーナー オフィス	
			個室(9)		
			子供部屋(4)	子供部屋(3) 長女のスペース	
			和室(3)		
			水まわり(43)	水まわり(11)	浴室(9) バスルーム シャワールーム
				洗面室(6)	洗面室(2) 洗面台(2) 洗面(2)
	トイレ(5)			トイレ(4) 和式トイレ	
	パウダーコーナー				
	収納(34)			収納(20)	クローゼット(6) ウォークインクローゼット(2) ストレージ(2) 壁面収納 納戸 倉庫 パントリー
				玄関(12)	
				バルコニー(6)	バルコニー(2) テラス(2) 専用庭 庭
			ホール(2)		
			廊下(3)		
			予備室(2)		
			ゲストルーム		
	趣味の場所(12)		洋裁スペース(6)	DJブース(5) 展示室	
			展示室		
	その他空間(27)		土間(16)		
			縁側(3)		
			ロフト(3)		
			小屋裏(2)		
			小上がり(4)		
			吹き抜け		
		2階(全体)			
		ショップ空間			
	空間構成(27)	間取り(11)			
		プラン(13)			
既存の配置					
構成					
動線					

物(444)	住宅(70)	住宅(2)			
		物件(9)			
		家(23)			
		住まい(9)			
		マンション(8)			
		集合住宅(3)			
		中古マンション(8)			
		建物(3)			
		一室(2)			
		建築			
		団地			
		住環境			
		内装・外装(33)	インテリア(10)		
			デザイン(6)	デザイン(5)	
				デザインテクニック	
	ディスプレイ(2)				
	装飾(2)				
	内装(4)		内装(39)		
			内部		
	外観(5)		外観(3)		
			佇まい(2)		
	意匠(3)				
	DIY				
	建物の構成要素(220)		構造・躯体(6)	躯体(3)	
				構造(2)	
				基礎	
			屋根(2)	片流れの屋根	
		むくり屋根			
		部材(2)	部材		
			鉄骨		
		壁(75)	壁(64)		
			構造壁(4)	構造壁(3)	
				躯体の壁	
			間仕切り(3)	間仕切り(2)	
				カーテン	
			雑壁(4)	腰壁(3)	
				垂れ壁	
		外壁			
		天井(11)			
		柱(8)	柱(6)		
			柱型(2)		
		梁(9)	梁(8)		
			小屋梁		
		床(23)	床(20)		
			畳(3)		
		建具(29)	建具(9)		
			引き戸(9)		
			扉(4)	扉(3)	
				扉の面材	
			ドア(4)		
			窓(3)	窓	
		内窓(2)			
		段差(2)			
		階段(10)	階段(3)		
			手すり(4)		
			踏み板(2)		
			はしご		
		ディテール(41)	ディテール(6)		
			モールディング(2)		
			サッシ(4)	サッシ(2)	
				アルミサッシ	
				スチールサッシ	
			幅木(3)		
			パーツ(14)	パーツ(3)	
				ドアノブ(2)	
				把手	
				金具(8)	
				ビス	
				水栓金具(3)	
				水栓	
			見切り材		
			廻り縁		
			長押		
			枠		
			建具枠		
			レール		
			壁の出隅		
			天板		
			面材		
		縁			
		造作			
		細部			

家具・設備・小物(114)	家具(74)	家具(12)		
		机(7)	テーブル(3) ローテーブル サイドテーブル ワークデスク テーブルの脚	
		カウンター(7)	カウンター(3) キッチンカウンター(3) 立ち飲みカウンター	
		椅子(5)	チェア スチールチェア ベンチ ソファ ソファベッド	
		収納(27)	棚(7) 食器棚(2) 収納棚(2) 壁面収納(2) 本棚(2) 収納家具 吊り収納 吊り戸 業務用の棚 下足棚 飾り棚 ラック リカーラック ユニット収納家具 ワードローブ CD棚 隠す収納	
		収納の部品(6)	収納扉(2) 収納の扉 棚板 背板 造作したハンガーパイプ	
			照明(2) ベッド 置き型のバスタブ 洗面鏡 テレビボード 什器 ブランコ	
		設備(13)	設備(5) 設備機器 システムキッチン キッチン本体 冷蔵庫(2) ユニットバス コンロ 洗濯機	
		小物(25)	もの(2) 小物(2) 雑貨(4) アイテム パーツ 本(2) 食器 壁に直接描いた絵 CD(2) ミネラルウォーター ストック 自転車 服 靴(3) 季節用品 廃材 植物(4)	植物(2) グリーン アイビー
		外部の要素(3)	環境 樹木や植栽 緑	
		リノベーション(2)	リノベーション 改修	

建物の評価(119)	築年数・竣工年(37)	築年数(34)		
		竣工年(3)		
	規模(35)	階数(7)		
		面積(28)		
	建築形式(19)	戸建	一戸建て(3)	
			一軒家(2)	
			戸建(2)	
		団地(6)		
		長屋		
		米軍ハウス(3)		
	構造(14)	鉄骨造(8)	店舗付き	
			1階が店舗で2～3階が住居	
	歴史的性質(7)	歴史的(2)		
歴史ある				
制度的性質(5)	設計者(3)	戦後の日本建築を牽引した建築家・内井昭蔵設計の		
		建築家に設計を依頼して建てた		
		建築家の設計		
環境的性質(2)	2部屋をつなげた			
	古家(2)			
空間的性質(4)	改装OK(2)			
	賃貸住宅			
空間的評価(251)	空間的性質(4)	南向き		
		3面に窓があり		
空間的評価(251)	空間的性質(4)	自由に仕切れる(2)	自由に仕切れる	
			好きに間仕切りできる	
	空間的印象(17)	開放的(13)	自由に使える	
			基調空間	
	空間的印象(17)	開放的(13)	開放的(7)	
			開放感(6)	
奥行き(2)		抜け感		
		奥行き感		
空間的状態(230)	一室空間(46)	ワンルーム(20)	ワンルーム(12)	
			ワンルーム空間	
	つなげる(26)	ワンルーム状(2)		
		ワンルーム的(2)		
		ワンルーム仕様		
		ワンルームに近い		
		一室空間		
		ひとつにつなげ		
		ひとつにまとめ		
		ひとつの空間(2)		
		一体化(2)		
		一体		
		一体感		
取込み				
繋がり				
つながる(2)				
つながっている				
つなげて(2)				
つなぐ				
つなげる				
つなげたり				
すべてつながった				
連続性				
連続				
続き間				
結ぶ				
端から端まで見渡せる				
視界をつなぎ				
廊下がない				
空間的状態(230)	緩やかにつながり(13)	緩やかにつながり		
		ゆるく仕切った		
		ゆるくつながる		
		緩やかにゾーニング		
		ゆるく切り分けている		
		壁がない		
		壁をつくらない		
		間仕切りやドアはなく		
		区切りの少ない		
		収納で空間を切り分け		
		収納で部分的に切り分けられ		
		棚で空間を仕切って		
		棚で寝室と廊下を仕切る		
オープンな(3)				

全体(7)	家全体(4)	
	全体 全部屋 全面に	
拡張		
広い(31)	広い(9) 広めの 広々とした(5) 視界が広がる 広がり(6) 広さ 広く(3) 広く使っている(2) 広く使う 広く使える 広々と使いたかった	
	大空間(4) 大空間(3) ゆったりとした造り	
	天井が高い(4) 天井が高く(2) 天井の高さ 天井高	
	柱のない(2)	
	抜け(7) 抜け(5) 見通しの良い 見通す	
	奥行き(4) 奥行き(3) 奥まった	
	上下のつながり(3) 上下階のつながり 上下階が連続 2階にあるLDKと1階の連続性	
	回遊性(6) 回遊出来る(3) 回遊性(2) 行き止まりの無い	
	独立した(13)	スペースを分けた 生活スペースを区分 空間を切り分ける 切り分ける 仕切り 仕切り方 切り分けられた 仕切る 独立させたり 独立した 異なった住居空間がうまく存在 個室化
		コンパクト(16) コンパクト(6) コンパクトな(5) 小さな(4) ミニマム
床レベル(4) 床の段差 床レベル レベルの異なる 3つの床レベルを持つ		
面積(2) 14畳 6畳あまり		
空間の形状(5) 既存の間取りはほぼ正方形 正方形に近い L字状の L字に続く 通路状の		
アイランド型 リビングとベッドが混在する		
光(14)		光(3) 自然光 採光(3) テラス側1面採光 光が届き 光が届いて 光が溢れる 明るく 光の入り方
		風(3) 風 風が良く通る

意匠的評価(609)	意匠的性質(60)	可動性(9)	可動式の(2)		
			スライド式の(2)		
			フレキシブルに		
			仕切れることも出来る		
			90度回転させる		
			取り外し		
			家具を移動		
			アンティークの(15)	アンティーク(5)	
				アンティークの(7)	
				古道具	
		ヴィンテージ家具			
		レトロ雑貨			
		既存の(9)	既存の(6)		
			既存		
			既存のまま		
			もともと使われていた		
		プロが選んだ			
		確かな			
		既製品(2)			
		外装材である			
		ガーデン用			
		イギリス製の			
		1900年代初頭のフランスの			
		固有名詞(14)	マリメッコ(2)		
			イッタラ		
			イームズ(2)		
			無印良品		
			IKEA(2)		
			HALO		
			Perrin%Roweの		
			merciの		
			壁紙専門店「WALPA」で購入した		
			ピート・ヘイン・イークがデザインした		
			『無相創』の		
			扉付き		
		隠す			
		オープン			
		意匠的状態(327)	状態(11)	バランス(4)	
				両立	
				対比	
				コントラスト	
				加減	
				ギャップ	
				違った表情	
				素材・仕上げ(217)	素材(9)
素材(7)					
マテリアル					
テクスチャ					
仕上げ(12)					
内装材					
木製(12)					
木製(5)					
木枠(3)					
格子					
木(3)					
足場板(9)					
ラーチ合板(3)					
杉板の(2)					
杉板張り					
無垢材(3)					
無垢の床材					
ラワン合板(3)					
ラワンの					
オーク(2)					
シナ合板(2)					
パイン材羽目板					
幅広のナラの無垢材					
檜材					
合板仕上げ					
タモ材					
フローリング(20)					
フローリング(4)					
チークフローリング					
杉板フローリング					
杉の無垢フローリング					
幅広のもの					
細めの材					
張り方					
ヘリンボーン(4)					
フレンチヘリンボーン					
斜め張り					
フローリングを斜めに張りたい					
パケット					
乱弱張りに					
3色張り分けた					

塗装(25)	塗装(14)	
	塗ったり	
	塗った	
	塗り	
	塗り直し	
	黒板塗装	
	ムラ感のある塗装	
	塗料(3)	
	ペイント	
	直接吹き付けた塗装仕上げ	
	壁の絵画	
	ガラス(17)	ガラス(8)
		ガラスの(2)
		ガラス張り(2)
型板ガラス(3)		
すりガラス		
透明と曇りガラス		
壁紙(15)		壁紙(9)
	柄の壁紙	
	ドット柄	
	小鳥の柄	
	廃材風壁紙	
	廃材柄の壁紙	
	廃材模様の壁紙	
金属(13)	スチール(3)	
	スチール製(2)	
	スチールの俺板	
	スチール仕上げ	
	鉄	
	黒皮鉄の	
	ステンレス	
	オールステンレス	
	真鍮	
	アイアン枠	
現し	現し(3)	
	躯体を現し(3)	
	構造を露出	
	構造壁を少し見せて	
	小屋組みがあらわになった	
	無塗装	
	モルタル(8)	モルタル(6)
モルタル壁		
墨を混ぜたモルタル		
タイル(6)	タイル(2)	
	タイル張りの	
	幾何学模様のモザイクタイル	
	パリのメトロと同じデザインのタイル	
	メトロタイプや幾何学模様のタイル	
エイジング加工(5)	エイジング	
	エイジング塗装	
	エイジング加工	
	ヴィンテージ加工の	
	ダメージ加工された	
漆喰(4)	漆喰	
	漆喰の	
	天然漆喰	
	漆喰塗り	
左官仕上げ(4)	左官(2)	
	左官仕上げ	
	自社調合左官材のコテ仕上げ	
ブロック(3)	ブロック(2)	
	コンクリートブロック	
レンガ(3)	レンガタイル(2)	
	レンガ	
コンクリート(3)	コンクリート(2)	
	コンクリート打ち放しの	
ALCパネル(2)		
ジョリパット(2)		
カーペット(2)	カーペット	
	麻のタイルカーペット	
アクセントウォール(2)		
骨材入り珪藻土		
土壁		
ガス管の		
扉付きの		

色(43)	色(3)		
	白(7)	白(2)	
		白く(3)	
		白い	
		真っ白	
	グレー(5)	グレー	
		灰色	
		薄いグレー	
		濃いグレー	
	黒(5)	黒(3)	
		黒い(2)	
	濃茶色		
	赤		
	ピンク		
	芥子色		
	骨材入りの納戸色と言う青		
	桜鼠色と言う薄いピンクグレー		
	水がき色と言うピンク		
	スカイブルー		
	薄水色		
	イエロー		
	パープル		
	渋めの色や素材		
	"パリのお部屋"風の色		
	日本の伝統色(2)		
	カラフル(4)		
	差し色(2)		
	色を合わせた		
	色を変えてペイント		
	見せる(19)	飾った	
		飾りたい	
		飾りながら収納	
		飾って収納	
		「見せる」収納	
		ディスプレイコレクションの陳列	
		インテリアとして	
		インテリアとして見せる	
インテリアにもなる			
インテリア然と			
CDを眺めながら過ごす			
オープンな(2)			
オープンに			
オープン			
見映え			
見た目			
色味			
隠す(3)	目隠し		
	隠し		
	"収納"		
形(16)	形状		
	形		
	シームレス(2)		
	フラットな(2)		
	ボックス型の(2)		
	スクエア型の		
	縦長		
	アーチ型		
	高め		
	小さめに割り付け		
	少しだけ過剰にしたサイズ感		
	曲線		
	L字型の		
	新旧(15)	新しかった	
古い(6)			
経年(7)		経年した(2)	
		経年変化(2)	
		時を経た	
		囲炉裏で燻された	
		かつての囲炉裏の煙で燻され	
当時のまま			
形式・デザイン(10)	数寄屋造り(3)		
	柄		
	背板の無い(2)		
	つくり込まない(2)	つくり込まない	
		つくり込みすぎず	
	完全にデザインされたもの(否定)		

意匠的印象(222)	個人的な評価(31)	理想(6)	理想の(3) 理想 理想的な 理想通り			
		好みの(15)	好み(7) 好きな(2) 好き 好きが詰まった 好きなものだけに囲まれた 希望通り 気に入った お気に入りの			
		こだわった(5)	こだわりの(2) こだわった こだわり抜いた こだわり			
		今住みたい 住み慣れた 自分らしさ(3)	自分らしくて 今の自分自身が表れている 住む人の想いが具現化したような			
		漠然とした評価(13)	印象(5)	印象的(3) 雰囲気良く 豊か 見た目 ちょうどいい 築33年の団地の一室とは思えない		
			物との関係(10)	「寂のある質感」が生きる コレクションが生きる 年代物のコレクションに相應しい 時を経たコレクションに新たな息吹をもたらす コレクション雑貨と心地よく同居する ヴィンテージ家具の雰囲気に合わせている 雑貨と空間が違和感無く馴染む コレクションとの関係性 趣の異なるコレクションが自然に調和する どんなデザインのものをも合わせてもしっかりくる		
				多様さ(3)	多彩な 多様な表情 ミックステイスト	
				楽しさ(14)	楽しい(7)	楽しい 楽しさ(3) 賑やか(2) 面白い
					遊び心(6)	遊び心のある 大人の遊び心 今を楽しむ遊び心 遊びの要素 遊び心ある 遊び心を加えた
					興味深い	
		差異性(28)			ユニーク(16)	ユニークな 個性的(3) オリジナルな オリジナリティが発揮された 普通とはひと味違う 独特な 意外性のある ここにしかない 他には無い クリエイティブな デザイン性の高い 大胆な 思い切ったデザインの
			アクセント(12)	アクセント(7) メリハリ アイストップ 存在感 全体のイメージを引き締めるような		

	整然・簡素(28)	シンプル(11)	シンプルな(6)
			シンプル(4)
			シンプルに
		すっきり(7)	すっきりとした(2)
			すっきり(4)
			すっきり感
		美しい(3)	
		ライン(3)	ラインが美しい
			ラインがそろう
			ラインがすっきりした
		基本の(3)	ベーシックな
			プレーンに
		無駄の無い	
		潔い	
	現代的(8)	モダン(2)	
		ポップな(3)	
		ホテルライクな	
		憧れの	
	重厚さ(13)	味わい(2)	
		風情(2)	
		深みのある	
		立派な	
		頑丈そうな	
		堂々とした風格	
		趣のある	
		重厚感	
		力強く	
		木造住宅の歴史を物語る	
懐古的(15)	レトロな(3)		
	アンティーク調(2)		
	アンティークタイル調(2)		
	ヴィンテージの		
	昔ながらの		
	日本の伝統的な		
	和風		
	和風の		
	古びた		
	年代風の		
	古い質感		
	古さ		
粗さ(32)	武骨さ(8)	武骨(3)	
		ラフな(2)	
		骨太な	
		ざっくりとした	
		ハードな	
	ヴィンテージ(7)	ヴィンテージ(4)	
		ヴィンテージな	
		ヴィンテージ感のある	
		ヴィンテージライクな	
	工業的な(6)	インダストリアルな(2)	
		インダストリアル	
		倉庫のような(2)	
	職人仕事		
素材感(6)	素材感		
	素材感のある		
	素材感の強い		
	質感		
	素地の表情(2)		
	屋外の雰囲気を感じさせる		
	ビルのような		
落ち着いた(32)	居心地(9)	居心地(2)	
		居心地の良い(2)	
		居心地の良さ(3)	
		居心地が良く	
		居心地も良く	
	心地よい(4)	心地よい(3)	
		カジュアルダウンされた心地よさ	
	優しさ(3)	優しい(2)	
		優しく包みこむ	
	おおらか(3)		
	ゆったりと(2)		
	ゆとりある		
	ゆとり		
	温かみ		
	あたたかな		
	穏やかな		
	安らぎ		
	落ち着いた		
どこか和める			
快適な			
ストレスにならない			
気取りが無い			

「古さ」に対する評価のデータシート

凡例

- **網かけ部分 (水色)** : 空間の様子が読みとれる「古さ」に対する評価
- **網かけ部分 (黄色)** : 「古さ」に対する《漠然とした評価》《個人的な評価》
- なみ線部分 : 評価の対象

古さに起因する評価のデータシート

<時を経た古さ>：既存部分

- 壁の一部は古びたALCパネルの現しでざっくりとした表情に。(LiVES 68号 p.26)
- 頑丈そうな梁や柱は、かつての囲炉裏の煙で燻され、重厚感を増している(LiVES72号 p.48)
- 素足に心地よい杉板の床や古い無垢材の小屋梁、画鋲の跡が気にならない杉板の壁と無骨なガス管の手すりなど、仕上げも空間同様におおらかで気取りが無い。(LiVES 70号 p.78)
- 既存の柱や梁が現しとなった、おおらかで見通しの良い家族の広間(LiVES 70号 p.78)
- そんなときに目に留ったのは、築29年、木造一戸建ての売家だった。「落ち着いた和風の外観に一目惚れでした。虫に入ってみると、木製の建具や床などのあたたかな色合いの木の質感で包まれています。(LiVES 71号 p.32)
- 壁・天井は真っ白の塗装を基本とし、一面だけ無塗装のまま残し、アクセントとしている。(LiVES 69号 p.74)
- 時を経た建物が好きなので、犬2頭と暮らす中古リノベにトライすることに。古さと味わいを残した家に仕上げたい(LiVES 68号 p.82)
- 古いものが好きで、木造の建物にも興味があった(LiVES 72号 p.48)

<デザインの古さ>：既存部分

- アール形状の壁の出隅など、既存建物のレトロな造作(LiVES 72号 p.82)
- 築50年という物件のレトロなスチールサッシが気に入り、リノベーションをすることにした(LiVES 71号 p.48)
- 前庭で見事に染まった紅葉越しにむくり屋根が見えて、風情がたまらなかった。(LiVES 71号 p.52)
- こだわりを盛り込んだ住み良い和風空間に(LiVES 71号 p.32)
- 数寄屋造りの味わいを残しながら、機能的かつ個人的にリノベーション(LiVES 71号 p.32)
- 広い敷地内に南向きにゆったりと並ぶレトロな建物。年月を経て大きく育った樹木や植栽が包み込む穏やかな雰囲気(LiVES 68号 p.42)
- 新旧の素材と技術を融合し、昔ながらの日本家屋を再生(LiVES 68号 p.38)
- LDKの化粧天井ボードを撤去。思いがけず現れた立派な柱が、空間に堂々とした風格を与えている(LiVES 71号 p.32)
- 頑丈そうな梁や柱は、かつての囲炉裏の煙で燻され、重厚感を増している。(LiVES 72号 p.48)
- 木枠や格子に、型板ガラス、すりガラスなどがはめられた古い建具は雰囲気が良く(LiVES 72号 p.44)

<時を経た古さ><デザインの古さ>：既存部分

- 仕上げを剥がして小屋組みがあらわになった天井が、木造住宅の歴史を物語る(LiVES 71号 p.94)
- 力強く優美な柱と梁が建物を支え、(LiVES 68号 p.38)
- 29年前に、建築家の設計によって建てられた数寄屋造りの住宅。風情を残しつつ間取を替え、こだわりを盛り込んだ住み良い和風空間に。・・・新築より趣のある家がつくれるはずだと直感した(LiVES 71号 p.32)

<時を経た古さ>：改修部分

- 経年変化を楽しめる鉄と木の組み合わせが好きなんです。・・・階段の手すり、テーブルの脚など、黒のスチールをアクセントとして散りばめている。(LiVES 68号 p.34)
- さらに寝室のドアにはエイジング塗装が施してあり、これまたパリ風。それに合わせてドアノブも年代風のものに新しく付け替えた。「古い質感が好きで、この部屋に合わせて家具もすべて買いそろえました」・・・この部屋には、カジュアルダウンされた心地よさがあった。(LiVES 68号 p.90)
- 個室を仕切る壁や腰壁には、北村さんの絵との相性から、ヴィンテージの型押しタイルがプリントされた「merci」の壁紙をセレクト。腰壁が遺跡のような趣となり、空間にユニークなリズムをつくらせている(LiVES 69号 p.78)
- 個性的なパターンのもので取り入れたい・・・ヴィンテージの型押しタイルがプリントされた「merci」の壁紙をセレクト。・・・思い切ったデザインの壁紙(LiVES 69号 p.78)

<デザインの古さ> : 改修部分

- 玄関から対角線上に見えるリビングの柱型には、FGの実例にも登場するアンティーク調のレンガタイルを施工。アイストップをつくり、ワンルームのLDKに仕上げのメリハリをつけている。将来は住み替えのため手放すことも考えられるYさんの家は、今を楽しむ遊び心と堅実性が無理無く融合している。(LiVES 71号 p.24)
- モルタルで仕上げたキッチンカウンターの先には革張りのアンティークソファが、H鋼と貨車を組み合わせた特注の/吊り戸を開けると、リカーラックが現れる。原さんは、「アメリカで禁酒法が発令された1920年代に数多く生まれた隠れ酒場のイメージ。武骨だけど大人の遊び心が潜んでいる空間です」(LiVES 72号 p.78)
- 左官や無垢の床材、アンティークの建具やパーツといった、普通とはひと味違うアイテム(LiVES 68号 p.60)
- アンティーク調などのデザイン性の高い壁紙(LiVES 69号 p.78)
- アンティークタイル調の壁紙(LiVES 69号 p.78)
- 土間や障子という日本の伝統的なツール(LiVES 71号 p.28)
- 質感のあるスタッコやモルタル仕上げとライトグレーの壁、アンティークの家具やインダストリアルな照明で全体を統一。趣の異なるコレクションが自然に調和する、深みのある基調空間を作り上げた。(LiVES 72号 p.82)
- コレクションが生きる、歴史ある集合住宅のヴィンテージな一室。素材や照明、什器など、細部にまでこだわったリノベーションで、年代物のコレクションに相応しい空間をつくり上げる(LiVES 72号 p.82)
- ヴィンテージ空間・・・ヴィンテージ感のある空間に馴染むようにアレンジした。「LDKの壁の一部は、『無相創』の収納家具や古道具を飾った、お気に入りのコーナーとなっています。家具も仕上げも好きなものだけに囲まれた空間をつくることができ、とても満足です」(LiVES 72号 p.24)
- 1930年代前後のインダストリアル(製品)には、骨太なテイストの中に職人仕事の温かみやゆとりを感じます(LiVES 72号 p.82)
- インダストリアルな家具や雑貨(LiVES 72号 p.82)

- 梁と天井の見切り材にモールドイングをまわし、奥さま**好みの**装飾を施す(LiVES 68号 p.26)
- ヴィンテージ家具やレトロ雑貨などがお**好き**で、以前から家中に物を飾って楽しんでいた(LiVES 68号 p.82)
- アンティークの家具や雑貨が**好き**なご夫妻(LiVES 72号 p.44)

<使い込まれた古さ>：改修部分

- 近隣の古い被災家屋が解体されるときに**廃材**として譲り受けた窓を、キッチンとリビングの間仕切りとして採用。古いパーツを**アクセント**として取入れた。(LiVES 72号 p.48)
- DJブースに**足場板**を使うことで、**素材感**を際立たせ、広い空間に**アクセント**をつけている。(LiVES 72号 p.86)
- カラフルな部屋に負けじと**存在感**を放つキッチン本体は、壁紙専門店「WALPA」で購入したピート・ヘイン・イークがデザインした**廃材模様**の壁紙を張ったもの。(LiVES 67号 p.46)
- **ヴィンテージライクな**空間・・・ヴィンテージ加工のフローリングと白壁を基調とする空間・・・ダメージ加工された洗面鏡(LiVES 71号 p.24)
- **ハードな**雰囲気**の足場板**(LiVES 72号 p.24)
- **廃材風**壁紙(LiVES 67号 p.46)
- 壁や天井をカラフルに塗ったり、キッチンの収納扉に**廃材柄**の壁紙を張るなど、**ポップな**DIYを施した(LiVES 67号 p.46)
- **廃材模様**の壁紙(LiVES 67号 p.46)

<デザインの古さ><使い込まれた古さ>：改修部分

- **意外性のある**素材を散りばめた**ヴィンテージライクな**空間・・・ヴィンテージ加工のフローリング・・・ダメージ加工された洗面鏡・・・玄関から対角線上に見えるリビングの柱型には、FGの実例にも登場するアンティーク調の**レンガタイル**(LiVES 71号 p.24)